

11/5 落ち葉をきれいに集めました

## 5 就業支援センターボランティア活動

特別養護老人ホーム旭寿園で、旭川保護観察所と就業支援センター、深川地区保護司会の11名が社会貢献活動を行いました。

これは、保護観察対象者が善良な社会の一員として、規範意識の向上を図るために行われています。

あいにくの天候で寒い中での作業でしたが、寮生や保護司の方々には旭寿園周辺の大量の落ち葉を集めていただき、感謝いたします。



11/11 地域の安全を守る

## 11 冬の地域安全街頭啓発出動式

冬の交通安全運動（13日～22日）に向け、ゆめっくる駐車場で、沼田町防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）「夜高パトロール隊」の出動式、パトライト作戦（街頭啓発）が行われました。

出動式で、深川警察署沼田警察庁舎の山本警務係長より「先日、沼田小学校横で盗難車の逮捕劇があり、地域住民の方から防犯や地域安全に対し非常に高い関心が寄せられています。このような状況で夜高パトロール隊のみなさんに啓発運動を実施していただけるのはとても心強く感謝いたします。」と挨拶されていました。



11/13 様々な体験ができました

## 13 町民交流フェスタ

町民交流フェスタが11月13日（日）ゆめっくるで開催され、約120名が来場しました。

木工クラフト体験や警察の鑑識体験、化石発掘体験等、様々な体験を行うことができ、書道体験では、満足がいくまで和紙で練習を繰り返した後、色紙に自分の好きな文字を書き上げました。

毎年大人気のこども人形劇も行われ、パセリ座（新得町）による人形劇が披露されると子ども達は笑顔で劇を鑑賞していました。

また、図書館ミニミニフェスタも同時に開催され、特別工作キットの配布や図書館クイズなどで賑わいました。



## 11 / 農業機械に乗車 16 いただきファーム

J A北いぶき青年部沼田支部（土田翔平部長）が主催する「いただきファーム」が11月16日（水）沼田小学校で行われました。

いただきファームとは、小学校の児童に食べ物の大切さや食に興味をもってもらうことを目的に行っており、今回は、小学校の駐車場に農作業で使用しているトラクターやコンバインなどが並び、児童たちは、「すごく大きい!」、「見たことある!」と楽しみながら、色々な農業機械に乗車しました。

参加した児童は「見たことのある農業機械でも乗ってみると知らない部分がたくさんあって驚いた」と話していました。



## 11 / 安全な除雪に向けて 17 除雪マナー講習会を開催しました

町内で除排雪作業を請け負っている事業者を対象に、11月17日（木）除雪マナー講習会をふれあいで開催しました。

講習会では役場担当職員から、除雪作業を安全に行うためのルールの確認や、町内に数か所ある排雪用雪捨て場の位置などを説明し、参加した事業者は、資料を見ながら除雪マナーを再確認していました。



## 11 / いじめは人権侵害 18 小学校5年生人権教室

人権擁護委員による人権教室が小学5年生を対象に行われました。「いじめと戦おう!」という題材で、いじめは人権侵害であり絶対にしてはいけないこと、いじめが起きた時に自分たちはどのような行動をとればよいのかについて学びました。

渡部順子委員は「人権とは人が安心して幸せに生きる権利のことで、みなさんも生まれながらに持っているものです。」と人権について話され、川合康子委員は「みなさんがよく話を聞いてよく考え、たくさん意見を出してくれてうれしい。」と感想を話されました。



## 11/ 町の商工業を支える

# 18 令和4年度沼田町商工優良従業員表彰式

観光情報プラザで沼田町商工会（吉住淳男会長）主催の優良従業員表彰式が執り行われ、7事業所から15名が表彰されました。

吉住会長は挨拶で「皆さんのような人財がそれぞれの会社を支えており、今後も支え続けていただきたい。」と述べられ、受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

また北空知輸送株式会社に30年以上勤務されている高木原健治さんは沼田町長表彰を受賞し、「身に余る光栄であり、表彰された従業員は今後の仕事のモチベーションとなります。コロナ感染者が増えている中、表彰式を執り行っていただき感謝します。」と謝辞を述べられました。



## 11/ 大人のかかわり方を考える

# 19 子育て講演会「乳幼児の心の発達と大人のかかわり」

「乳幼児の心の発達と大人のかかわり」と題し、子育て講演会 兼 ファミリーサポートセンター援助会員フォローアップ講座が11月19日（土）ふれあいで行われました。

講師に拓殖大学北海道短期大学部保育学科の穴水ゆかり准教授をお迎えし、発達心理学をベースに発達段階において子どもの世界の捉え方を学び、大人がどのように関わればよいかを学びました。



## 11/ 上手にできました

# 20 生きがい講座「伝筆・エアロビックス教室」

教育委員会主催の生きがい講座として、カラフルな筆ペンを使ってプレゼントカードや年賀状を書く「楽しい伝筆教室」が、11月20日（日）ゆめっくるで行われました。

講座では講師の指導の下、好きな色の筆ペンを手に取り、手本となるカードを見ながら自分なりのカードを仕上げていきました。

参加者は「初めてだけどおもしろいね」と楽しいひと時を過ごし、その後行われたエアロビックス教室では、それぞれの体力に合わせてダンスをし、普段体験できない貴重な経験をしました。

なお、この教室は1月29日（日）からサークルとなり、町民の皆さんが誰でも参加することができます。お問合せは090-1521-8392（菅原さん）まで。



## 11 / 高齢者の社会参加へ 21 地域活躍応援事業講演会

地域活躍応援事業として、認定 NPO 法人シーズネット（札幌市）奥田龍人理事長を講師として招き、11月21日（月）講演会を開催しました。

「地域の仲間・居場所・役割づくり」と題し行われた講演は、社会参加が少なくなると閉じこもりがちになり、生活が投げやりな状況になってしまうことや、ボランティアなどで社会貢献することで、介護予防にも繋がっているとの話があり、講演前後にはコグニサイズという、体操に頭を使う運動を組み合わせた体操が行われ、頭と体をリフレッシュしていました。



## 11 / 沼田ビールの魅力を発信 22 北海学園によるクラフトビールPR戦略発表

包括連携協定を結んでいる北海学園大学経営学部  
の伊藤ゼミに所属する学生たちが、2グループに分かれて、クラフトビールの魅力を発信するためのプレゼンテーションを行いました。

1グループ目は、様々な人とコミュニケーションをとりながら、愛される沼田ビールを目指し、観光情報が掲載された「(仮称)ぬマップ」などを作成して活気溢れるまちにしていくというもので、2グループ目は様々なSNSを利用し「#沼田で沼ろう」といった独自のハッシュタグで沼田町を知ってもらい、沼田の食材を使った「ビール鍋」、「トマト鍋」など沼田町独自の味を提供することで観光客を増加させていくというものでした。

どちらのグループも沼田町に足を運んでもらい活性化を目指す熱い内容で、横山町長は「沼田町のクラフトビールを身近なものにすることは、今後の沼田町を知ってもらうためにとても重要なこと」と話されました。



## 11 / 志望校合格へ 25 公設塾「みらい」が開講しました

沼田学園が行った保護者アンケートで「学習習慣」などについて不安に思われているというご意見があり、11月25日（金）から公設公営塾「みらい」が開講しました。

現在は、中学3年生を対象に毎週水曜日と金曜日の放課後に入試対策の授業を行っており、塾に参加している生徒たちは、真剣なまなざしで授業に取り組んでいました。

今後は、毎年実施している冬休み講習会とあわせて、志望校合格に向けてサポートしていきます。



## 11/11 **ゼロカーボンを身近に**

### 30 第1回ゼロカーボン標語・ポスターコンクール表彰式

町が主催した「第1回ゼロカーボン標語・ポスターコンクール」の表彰が11月30日（水）行われました。

沼田町は「ゼロカーボン宣言」を表明しており、環境教育の一環として中学生にゼロカーボンに対する認識や活動について考えるきっかけを作ることを目的に開催され、審査会で選ばれた標語の部12点、ポスターの部13点（受賞者：20名）が表彰されました。



## 12/1 **北海道拓殖短期大学の学生と交流**

### 1 未来や仕事について話し合う「ぬまとーく」

町内の事業所の方々と拓殖大学北海道短期大学の学生が話し合い、就職活動や求人の情報発信などに活かしていく「ぬまとーく」が12月1日（木）拓殖大学北海道短期大学で開催されました。

今回、初の試みとして行われた「ぬまとーく」には、町内11事業所と13名の学生が参加し、数グループに分かれて、仕事の体験談や就職するときに重視するポイントなど、お互いが気になっている点を話し合いました。

参加した学生は、「実際に働いている方の話を聞いてとても勉強になった。今後の就職活動の参考にしていきたい」と話されており、参加された事業所の方も「普段、学生と話す機会がないので、反応を見ながら会話することができて良かった」と共に成果をあげていました。



## 12/3 **記念すべき第1回の優勝は？**

### 3 第1回町民フロアカーリング大会

町体育協会（伊藤淳会長）主催の第1回町民フロアカーリング大会が、12月3日（土）町民会館で開催されました。10チーム40名が参加した今大会は、トーナメント方式で行われ、開会式で伊藤会長は、「フロアカーリングを通じて是非、町を盛り上げていってください。各チーム優勝目指して頑張ってください」と挨拶され、試合では真剣な表情で狙いを定めて、ストーンを飛ばし、狙ったところに行くとチームで喜びながら、フロアカーリングを楽しんでいました。

優勝 チームカトレア 準優勝 チーム山口 3位 ほたる



12/3

優勝を目指して

## 沼田町教育長杯争奪小学生バレーボール大会

令和4年度沼田町教育長杯争奪小学生バレーボール大会が12月3日(土)、4日(日)の2日間、町民体育館で開催され、沼田リトルポプラが出場しました。

5年生大会が行われた1日目は、予選リーグを1位で突破し、決勝トーナメントでは毎試合、白熱した試合が繰り広げられ、決勝戦の雨竜暑寒ブレイズ戦では、終始試合を優位に進め、2-0で見事優勝に輝きました。

2日目の6年生大会も予選リーグを1位で突破しましたが、決勝トーナメント初戦の一己ジュニア戦で、6年生を中心に抜群のチームワークでボールを繋ぎ長いラリーが続きましたが、惜しくも1-2で敗れ3位となりました。



表彰

パークゴルフの普及拡大に貢献

## 日本パークゴルフ協会表彰

公益社団法人日本パークゴルフ協会から、パークゴルフの普及指導や交流などの推進に貢献したことを称え、吉井昭一さん(市内1東)が表彰されました。

吉井さんは、パークゴルフの指導員として22年、町パークゴルフ協会長として10年という長きにわたり、パークゴルフの普及促進などの取組を続けています。

シーズン中はほとんど毎日パークゴルフをしているという吉井さんは「パークゴルフを続けてきて、健康を維持することができ、町内外の方と交流するコミュニティのひとつになっている。今回はこのような賞を受けることができて嬉しい。」と話されていました。



合格

## 沼田雪中そば倶楽部の川邊美津江さんがそば打ち5段位を取得されました！

町内のそば打ち愛好者で構成されている「沼田雪中そば倶楽部」に所属する川邊美津江さん(旭町東)が、仙台市で行われた一般社団法人全麺協が主催する素人そば打ち段位認定大会に出場し、5段位を取得されました。

全国から78人が挑戦した5段位の試験には、実際にそばを打つ実技のほか、筆記や論文もあり、合格率が約55%の厳しい認定試験でした。

見事合格した川邊さんは「びっくりしたがとても嬉しかったです。そばを通して地域に貢献したい」と話されていました。

